



News Release

2022年11月24日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

冬の火災は『ゼロ距離』と『ほったらかし』に注意！

～電気暖房器具は使う前に点検も！～

1. 関東甲信越地方の電気暖房器具の事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2017年度から2021年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、電気暖房器具の事故は118件ありました。電気暖房器具の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2017年度	1		1	4	3	7	5	1			22
	(内数)火災事故			(1)	(4)	(3)	(2)	(4)	(1)			(15)
	2018年度	1		1	6	2	6	3	1			20
	(内数)火災事故	(1)			(6)	(2)	(3)					(12)
	2019年度	2		1	3	2	9	6			1	24
	(内数)火災事故	(1)			(1)	(1)	(6)	(5)			(1)	(15)
	2020年度			1	4	4	10	7	2	1	1	30
	(内数)火災事故			(1)	(3)	(2)	(6)	(3)	(1)		(1)	(17)
2021年度	1		1	4	3	8	4			1	22	
(内数)火災事故	(1)		(1)	(2)	(2)	(6)	(3)			(1)	(16)	
合計	5	0	5	21	14	40	25	4	1	3	118	
(内数)火災事故	(3)	(0)	(3)	(16)	(10)	(23)	(15)	(2)	(0)	(3)	(75)	

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1	3	1		1			6	
		(内数)火災事故			(1)	(3)	(1)		(1)			(6)	
		重傷			1			1				2	
		(内数)火災事故										(0)	
		軽傷						2				2	
	(内数)火災事故						(2)				(2)		
	物的被害	拡大被害	3		2	10	8	15	10	2		2	52
		(内数)火災事故	(3)		(2)	(8)	(6)	(11)	(9)	(1)		(2)	(42)
		製品破損	2		1	8	5	22	14	2	1	1	56
	(内数)火災事故				(5)	(3)	(10)	(5)	(1)		(1)	(25)	
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		5	0	5	21	14	40	25	4	1	3	118	
(内数)火災事故		(3)	(0)	(3)	(16)	(10)	(23)	(15)	(2)	(0)	(3)	(75)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	総計	
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	2		2	8	6	22	13	2	1	1	57
		(内数)火災事故				(4)	(3)	(9)	(4)	(1)		(1)	(22)
	B	製品および使い方に問題があったもの											0
		(内数)火災事故											(0)
	C	経年劣化によるもの				1			2				3
		(内数)火災事故							(2)				(2)
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	1		1	1		2		2			7
		(内数)火災事故	(1)		(1)	(1)		(1)		(1)			(5)
		小計	3	0	3	10	6	24	15	4	1	1	67
		(内数)火災事故	(1)	(0)	(1)	(5)	(3)	(10)	(6)	(2)	(0)	(1)	(29)
製品に起因しない事故	D	施工、修理又は輸送などに問題があったもの											0
		(内数)火災事故											(0)
	E	誤使用や不注意によるもの					1	3	1				5
		(内数)火災事故					(1)	(2)	(1)				(4)
	F	その他製品に起因しないもの	1			3	1	3	2				10
		(内数)火災事故	(1)			(3)		(2)	(2)				(8)
	小計	1	0	0	3	2	6	3	0	0	0	15	
	(内数)火災事故	(1)	(0)	(0)	(3)	(1)	(4)	(3)	(0)	(0)	(0)	(12)	
その他	G	原因不明なもの			2	6	3	5	5			1	22
		(内数)火災事故			(2)	(6)	(3)	(4)	(4)			(1)	(20)
	H	調査中のもの	1			2	3	5	2			1	14
		(内数)火災事故	(1)			(2)	(3)	(5)	(2)			(1)	(14)
		小計	1	0	2	8	6	10	7	0	0	2	36
	(内数)火災事故	(1)	(0)	(2)	(8)	(6)	(9)	(6)	(0)	(0)	(2)	(34)	
合計		5	0	5	21	14	40	25	4	1	3	118	
(内数)火災事故		(3)	(0)	(3)	(16)	(10)	(23)	(15)	(2)	(0)	(3)	(75)	

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 可燃物接触による事故

・ 2018年3月、千葉県、拡大被害

(事故内容)

電気ストーブを使用中、電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

使用者がベッドの上で電気ストーブを使用したことによって、可燃物に接触して火災に至ったものと推定される。

なお、本体には、「燃えやすい物の近くでの使用や就寝中は使用しない。」旨の表示が貼付されており、取扱説明書には、「就寝中に使用しない。」、「燃えやすいものの近くで使用しない。」、「不安定な場所で使用しない。」旨、記載されている。

② 可燃物接触による事故

・ 2020年5月、東京都、拡大被害

(事故内容)

電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電源プラグがコンセントに接続された状態で電源スイッチがオンの位置のまま放置されたため、タイマー動作によりヒーターに通電が停止したものの、停電後にタイマーがリセットされヒーターに再通電して近傍の可燃物を加熱し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書の注意には、「使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。絶縁劣化による感電、火災などを防ぐ。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，中野

電話：03-3481-1820